

洞爺湖町議会平成28年10月会議

議事日程(第1号)

平成28年10月28日(金曜日) 午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
日程第 2 諸般の報告について
日程第 3 行政報告について
日程第 4 報告第6号 経済常任委員会所管事務調査中間報告について
日程第 5 議案第26号 財産の取得について(漁業系廃棄物収集運搬車両)
日程第 6 承認第4号 議員の派遣について

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6まで議事日程に同じ

出席議員(14名)

1番	岡崎	訓君	2番	越前谷	邦夫君
3番	五十嵐	篤雄君	4番	高臣	陽太君
5番	千葉	薫君	6番	立野	広志君
7番	小松	晃君	8番	沼田	松夫君
9番	板垣	正人君	10番	七戸	輝彦君
11番	篠原	功君	12番	大西	智君
13番	下道	英明君	14番	佐々木	良一君

欠席議員(0名)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	真屋敏春君	副町長	森寿浩君
総務部長 兼 総務課長	伊藤里志君	経済部長	澤登勝義君
洞爺総合 支所長	大西康典君	産業振興 課長	佐藤孝之君

環境課長 若 木 渉 君

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	毛 利 敏 夫	庶務係長 兼 議 事 係 長	平 間 義 陸
庶 務 係	阿 部 は る か		

◎開議の宣言

○議長（佐々木良一君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから、洞爺湖町議会平成28年10月開議を開会いたします。

現在の出席議員は14名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎会議録署名議員の指名について

○議長（佐々木良一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第120条の規定により、10番、七戸議員、11番、篠原議員を指名いたします。

◎諸般の報告について

○議長（佐々木良一君） 日程第2、諸般の報告を行います。

諸般の報告は、お手元に配付のとおりでありますので、これでご了承願います。

ここで、議会運営委員会の所管事務調査の報告を願います。

小松委員長。

○議会運営委員会委員長（小松 晃君） おはようございます。

読み上げて報告します。

所管事務調査報告書。

平成28年10月28日。

洞爺湖町議会議長佐々木良一様。

議会運営委員長小松晃。

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記。

1、調査事項、洞爺湖町議会平成28年10月会議の運営について。

2、調査日、平成28年10月25日火曜日。

3、出席議員、私、岡崎副委員長、越前谷委員、五十嵐委員、七戸委員、大西委員。

4、委員外として、佐々木議長、下道副議長の出席をいただいております。

5、説明員、森副町長。

6、結果、地方自治法第102条の2第7項に基づく洞爺湖町議会平成28年10月会議の開議請求に伴い、本委員会を開催し、議会運営のための所要の協議を行い、その結果は次のとおりであります。

会議期間について、10月28日、1日間。

議事日程について、10月28日、本会議。

以上です。

○議長（佐々木良一君） 以上で諸般の報告を終わります。

会議の審議日数は、本日1日を予定しておりますので、議事運営にご協力をお願い申し上げます。

◎行政報告について

○議長（佐々木良一君） 日程第3、行政報告を行います。

町長並びに教育長から行政報告の申し出がありますので、これを許します。

初めに、町長の行政報告を許します。

真屋町長。

○町長（真屋敏春君） 平成28年10月28日、洞爺湖町議会平成28年10月会議、町の行政報告を申し上げます。

一つ目に寄附についてでございます。

前会議から本会議までの間、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に沿うようありがたく受納いたしました。

一つ目に、金品の寄附でございまして、洞爺湖町洞爺町54番地41、医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院理事長中谷玲二氏でございます。金額は5万円でございます。

二つ目にも金品の寄附でございまして、個人匿名で345件、総額で、前会議により今会議まで474万円でございます。

二つ目に、有珠山噴火避難訓練の実施についてでございます。

2000年有珠山噴火から16年を迎え、次期有珠山噴火に備えた防災訓練として10月22日に有珠山噴火避難訓練を実施いたしました。

有珠山火山防災マップによる火砕流の危険区域を対象に、16自治会の住民の皆様を初め、中学生ボランティアや各防災機関等の総勢396名の方々に参加いただきました。

住民避難訓練として、福祉避難所を含め10カ所の指定避難所まで避難することとし、自家用車での避難と、車のない方について16カ所の一時集合場所まで徒歩で移動していただき、そこからは町で用意いたしましたバス等による指定避難所への輸送訓練を行いました。

情報伝達訓練においては、消防サイレン、防災行政無線及び広報車両に加え、緊急速報メールやコミュニティFMへの緊急割り込み放送による避難広報を行うとともに、観光客へは洞爺湖温泉観光協会を通じて宿泊施設等にファクスで周知を行い、特に外国人観光客への対応として、外国語翻訳拡声器による呼びかけと携帯電話外国語翻訳アプリを利用した情報伝達を行いました。

また、避難指示区域内にあります2カ所の保育所においては、保護者に対し、現状と今後の対応等を電話連絡する訓練も行いました。

洞爺湖文化センターでは、NPO法人環境防災機構北海道理事である岡田弘氏に「これか

らの有珠山噴火に備えて」として講演をしていただき、終了後は、陸上自衛隊第7師団第71戦車連隊と日本赤十字社洞爺湖支部奉仕団の協力による炊き出しも行いました。

訓練にご協力をいただきました関係機関と参加者の皆様に感謝申し上げます。今後も噴火・地震・津波・土砂災害など地域防災計画において、想定される災害に対し防災・減災に向けた取り組みを推進してまいります。

三つ目に、ユネスコ世界ジオパーク国際会議への参加についてでございます。

第7回ユネスコ世界ジオパーク国際会議が9月27日から30日までの4日間、イギリスのイングリッシュ・リビエラジオパークを会場に開催されました。ユネスコ世界ジオパーク地域は、2年に一度開催されるユネスコ世界ジオパーク国際会議への参加が求められており、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会として、会長、教育普及委員長及び事務局員が参加してまいりました。

ユネスコ世界ジオパーク国際会議では、口頭及びポスターによる五つの活動発表を行うとともに、第1回となるUGGN（ユネスコ世界ジオパークネットワーク）総会に出席したほか、前回の世界再認定審査で来訪したギリシャのニコラス・ゾウロスを初めとする世界ジオパークの中核を担う方々との交流を深めてまいりました。また、日本国内のユネスコ世界ジオパーク8地域連携による合同紹介ブースを設置した中で、当ジオパークの魅力を広くPRしてまいりました。

四つ目に、日本ジオパーク再認定審査についてでございます。

洞爺湖有珠山ジオパークの4年に一度のJGN（日本ジオパークネットワーク）再認定審査（現地審査）が、10月20日、21日の2日間の日程で実施されました。

現地調査員として、日本パーク委員会（JGC）委員長の尾池和夫を初めとして、JGCにより委嘱された審査員3名が来訪し、JGNとして当地域の事業進捗の度合いや、来年に控えたユネスコ世界ジオパーク、UGG再審査に向けて準備が必要な視点などを確認いたしました。

再審査結果については、本現地審査の広告に基づいて、12月に開催されるJGNの会議において再認定の可否が決定されることになっています。

五つ目として、各種事務事業の取り組み状況についてでございます。

前会議から本会議までの各種事務事業の取り組み状況について次のとおり報告いたします。

なお朗読については、この部分は省略をさせていただきます。

以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 以上で、町長の行政報告を終わります。

次に、教育長の行政報告を許します。

遠藤教育長。

○教育長（遠藤秀男君） 教育委員会の行政報告を申し上げます。

報告は1件でございます。

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果概要について。

4月に実施しました全国学力・学習状況調査の結果がこのほど公表されました。

洞爺湖町では、小学校3校の6年生66名、中学校2校の54名が参加しました。調査は、国語、算数・数学の知識に関するA問題と活用に関するB問題で行われ、あわせて生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査も行われました。

教科の調査結果を平均正答率で見ますと、小学校では、全教科において、昨年に比べ北海道・全国との差を縮めましたが、まだ相当程度を下回っております。また、学校間のばらつきが目立っています。中学校も全教科で北海道・全国よりも下回っていますが、その差は小学校と比べ小さく、学校間の差も小さい状況でした。総じて小中学校ともに正答率の低い層の割合が高いことから、これらの層の底上げがこれまで同様に課題と考えているところでございます。

質問紙調査では、小中学校ともに、朝食や睡眠状況、テレビやゲームなどに充てる時間などの基本的な生活習慣は北海道と同様の状況にあり、一方で、家の手伝いをする割合は高いが、家庭での学習時間は短い状況となっています。学習や授業についての質問では、小学6年生よりも中学3年生のほうが学習への目的意識や学ぶ意欲が高いことが見てとれます。

調査結果は、児童生徒が身につけるべき学力の一部分を示していることを踏まえ、学校における教育指導の充実や家庭学習の改善、充実に役立ててまいります。

以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 以上で行政報告終わります。

◎報告第6号の上程、報告、質疑

○議長（佐々木良一君） 日程第4、報告第6号経済常任委員会所管事務調査中間報告についてを議題といたします。

経済委員会から報告の申し出があります。

本件は、申し出のとおり報告を受けることにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 異議なしと認めます。

したがって、経済常任委員会の所管事務調査中間報告を受けることに決定いたしました。

経済委員長の発言を許します。

大西委員長。

○経済常任委員会委員長（大西 智君） 皆さん、おはようございます。

読み上げて報告したいと思います。

報告第6号。

所管事務調査中間報告書。

平成28年10月28日。

洞爺湖町議会議長佐々木良一様。

経済常任委員会委員長大西智。

本委員会は、所管事務調査について、調査した結果を洞爺湖町議会会議規則第42条第2項の規定により、中間報告をします。

記。

所管事務調査

1、台風10号の被害状況について

2、平成28年9月7日水曜日及び10月7日金曜日

3、出席委員、私、沼田副委員長、千葉委員、小松委員、板垣委員、篠原委員、下道委員。

4、説明員等、澤登経済部長、鈴木企画防災課長、佐々木観光振興課長、佐藤産業振興課長、八反田建設課長、若木環境課長、杉上農業振興課長。

5、調査結果、

(1) 被害状況について。

8月30日の台風10号に係る被害状況及び処理状況について、各関係課より報告を受けた。また10月7日現在での被害状況については、別紙のとおりである。

なお、別紙につきましては朗読をいたしませんので、お目通しをしていただきたいと思います。

(2) 支援策について。

台風10号による国、道、町の支援策については、次により実施される予定となっている。

①農業関係分

・被災農業者向け経営体育成支援事業。

裏面を見ていただきたいと思います。

②漁業関係分。

・台風被害に係る漁業近代化資金の増枠。

・激甚災害指定に伴う追加措置。

・北海道知事への要望（2市6町、市町長・議長・組合長）

③住民関係分（住宅倒壊など）。

・被災者生活再建支援制度。

・北海道災害に伴う住家被害見舞金の支給。

・義援金の支給。

・ゴミ処理費用の減免措置。

などの支援策となっており、被災された方への周知の徹底など、きめ細やかな対応が必要である。

(3) 今後の課題について。

今回の台風により、民有地や公共用地内において相当数の倒木が見られるが、大事故には

至らなかった。今後もこのような暴風雨が発生するおそれもあり、倒木等による事故を未然に防ぐためにも、全町的、特に洞爺湖畔周辺などの危険木や古木などの実態調査を行い、関係機関への要請等を含めて年次的な対応が必要である。

本委員会では、台風10号の被害状況などについて、引き続き調査を継続することとした。
以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 報告を受けましたが、確認程度の質疑などを受けたと思います
が、ございますか。

立野議員。

○6番（立野広志君） 確認なのですが、この支援策についてなのですけれども、具体的に当町においては何件ぐらいが該当するのかなというところがここには明記されていないよう
ですけれども、例えば、③の住民関係で言いますと、被災者生活再建支援制度というのは、
有珠山の噴火のときにも金額が少なかったのです。実施されましたが、満度で支給される
というのはごくわずかで、実際には全壊、半壊、あるいは一部損壊というようなランク分けが
されて、金額もそれぞれ違っていたわけですね。ですから、例えばそういったようなこと
を含めて、どの程度の該当になるのかというところは何かお調べになったのでしょうか。

○議長（佐々木良一君） 大西委員長。

○経済常任委員会委員長（大西 智君） 今ご質問いただいた分に関連する部分なの
ですけれども、別紙において、住家の被害、それ以外ということで、一般家屋の関係
については記載させていただいております。

ただ、先ほどご質問があった、実際被害に遭った部分の件数に関しては、まだ報告を
受けてはおりません。

恐らく、この審査については、今予定となっているという部分がありまして、これ
からそういった関係の部分の実際の被害状況を踏まえて、当町における被害額、件数
等などが出てくるのかなと思います。

ただ、経済常任委員会といたしましても、しっかりとこの辺を今後調査してまい
りたいと思っております。

以上です。

○議長（佐々木良一君） そのほかございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 以上で、経済常任委員会の所管事務調査中間報告を
終わります。

◎議案第26号の上程、報告、質疑、討論、採決

○議長（佐々木良一君） 日程第5、議案第26号財産の取得について（漁業系
廃棄物収集運搬車両）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

森副町長。

○副町長（森 寿浩君） それでは議案書の1ページでございます。

議案第26号財産の取得についてでございます。

次のとおり財産を取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例（平成18年度洞爺湖町条例第39号）第3条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

取得する財産でございますが、漁業から出る廃棄物を花和の堆肥施設まで運ぶ車両の購入ということでございまして、漁業系廃棄物収集運搬車両10トン深ダンプトラックでございます。

数量については1台、契約の方法については指名競争入札でございます。取得価格については1,741万9,428円、所得先につきましては室蘭市寿町3丁目16番5号、北海道いすゞ自動車株式会社室蘭支店支店長小原光夫でございます。

なお、説明資料としまして、車両の仕様、それから裏のページに参考図等をつけておりますので、ご覧をいただきたいと思います。

以上、ご提案を申し上げます。

○議長（佐々木良一君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

6番、立野議員。

○6番（立野広志君） まず、非常に金額が大きいものですから、これまでのダンプ、運搬車との間でグレードが今回かなり違うのかどうか、あるいは同じものなのか、それとも少しグレードアップされているのかというようなことをお聞きしたいのと、実際にこんな1,700万円もするものなのだなという気がするのですけれども、この辺は相場並みということなのでしょう。ちょっと、その辺だけ。

○議長（佐々木良一君） 若木環境課長。

○環境課長（若木 渉君） 今ご質問ございました車両のグレードでございますが、今まで使っていました車両が、初年度登録からもう21年が経過しているということで、かなり腐食が進んで、今回の見直しということになったところなのですけれども、そもそもスタート段階におきまして、当時、漁業系の廃棄物収集運搬をしておりました業者が急遽業務を辞退する事態がございまして、それで急遽別な会社がやらなければいけないという、緊急事態でスタートしたような状況になってございまして、その当時は、会社で所有しておりました中古の車両を改造してスタートしてございまして、今回につきましては、その車両は限界にきたということで、今回新たに新車を購入するということになりましたので、その辺の値段の差があるのかなというところでございます。

あと、金額につきましては、今回、こういう特殊な加工が必要な車両ということでございまして、事前に加工を専門とする業者さんに見積もり等を聴取した中で今回の設計の価格を設定させていただいたところなのですけれども、実際の入札におきましては、車両の取り扱いをしておりますディーラー3者を指名した中で入札を行った結果、このような入札結果に

なったという状況となっております。

以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 立野議員。

○6番（立野広志君） 先ほど、これまで使っていた車両との間、例えばグレードが違うのかという話をしたのです。中古であれ何であれ、グレードというか、例えば10トン深ダンプというふうに言っているだけですけれども、同じ程度のものなのか、それとも、あるいはもっと安いランクのものがこれまで使用されていたのかというようなことなのです。だから、今回改めて購入しなくてはいけないということになったときに、グレードを少し高くして購入するというふうになったのかどうか、そこだけ知りたかったのです。

それから、以前は、運送会社の所有という話をされていましたが、今回は町がこれを取得して事業者に貸し出すという形になるわけですか。その辺も確認させてください。

○議長（佐々木良一君） 若木環境課長。

○環境課長（若木 渉君） グレードにつきましては、今まで使っていた車両と同程度のグレードということで設定してございます。

次の今までと今回でございますけれども、前は緊急事態でスタートした状況でございまして、業者さんの車両を使って回していただけたのですが、今回につきましては、業者さんも新たにこの事業のためだけの車両を維持することは困難だということもございまして、町で今回新車として購入して、今後については対応していきたいということで購入した車両でございます。

○議長（佐々木良一君） 立野議員。

○6番（立野広志君） そうすると、今度は町が所有して、事業者に対してこれを貸し出すといいますか、貸与をするということになるわけですね。

そうすると、運搬費用については当然削減されるのだと思うのですが、このトラックの日常的な整備や保守点検、あるいは破損等があった場合の修繕等については、どちらがこれを見るのでしょうか。

○議長（佐々木良一君） 若木環境課長。

○環境課長（若木 渉君） 当然、基本的な修繕につきましては業者さんに依頼をしてお願いしていく予定でございますけれども、車検等に係る費用につきましては、当然、所有者は町ということでございますので、町で負担をしていかなければいけないというふうに認識をしております。

○議長（佐々木良一君） そのほか質疑ございませんか。（「運搬費用の件に対して……」と発言する者あり）

○議長（佐々木良一君） 答弁漏れ。

若木環境課長。

○環境課長（若木 渉君） 申しわけありません。

運搬費用につきましては、当然、今までの委託費には車両の破損料等を見込んでおりまし

たので、今までよりは安くなる状況になるものでございます。

○議長（佐々木良一君） それでは、そのほかございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 討論なしと認めます。

これから議案第26号財産の取得についてを採決します。

お諮りします。

本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第26号財産の取得については原案のとおり可決されました。

◎承認第4号の採決

○議長（佐々木良一君） 日程第6、承認第4号議員の派遣についてを議題といたします。

議員派遣の件については、お手元に配付のとおりであります。

お諮りします。

原案のとおり、派遣することにご異議ございませんか

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（佐々木良一君） 異議なしと認めます。

したがって、原案のとおり派遣することに決定いたしました。

◎散会の宣言

○議長（佐々木良一君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

あすから12月の定例日の前日までは休会となっていますので、ご承知願います。

本日は、これをもって散会いたします。

（午前10時30分）

会議の経過は以上のとおり相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員